

令和 4 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	輝くまち	政策名	魅力発信と交流のまちづくり						
施策 No.	22	施策名	観光の振興						
主管課名	商工観光課								
関係課名	企画政策課、情報広報課、地域協働課、農林水産課、生涯学習・スポーツ課、埋没林博物館、水族博物館								
10年後の目指す姿	地域の魅力が広く国内外へ発信され、魚津市の認知度が高まり、観光客が増加しています。								
施策の現状及び課題	現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・魚津まつりなど、大勢の人が来場する観光イベントを年間通じて開催しています。また、観光誘客のための出向宣伝を行っています。 ・観光客の受け入れ体制充実のため、観光協会の運営支援や観光スポットの整備を行っています。 ・近隣自治体と連携し、主に海外からの観光誘客促進に取り組んでいます。 							
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに、観光事業全般においても新しい生活様式を踏まえることが必要とされています。 ・観光客のニーズを把握して受け入れ体制を整備し、来訪者の満足度を高める必要があります。 ・観光振興事業を効果的に実施するため、様々なデータを分析・活用する必要があります。 ・広域観光の情報を効果的に発信し、誘客に結び付けることが期待されています。 							
施策を進めるための役割分担	行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の磨き上げと新たな地域資源の発掘に取り組めます。 ・観光PR活動をはじめ、ホームページや観光ガイドなど情報インフラの整備を促進します。 ・インバウンドに対応した受け入れ体制を充実させます。 							
	市 民 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の観光資源に誇りをもち、自ら情報発信します。 ・観光客におもてなしの心をもって接します。 							
目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	地域資源のブランド力向上							
	基本事業②	地域の魅力発信体制の整備							
	基本事業③	イベント・受け入れ体制の充実							
	基本事業④	広域観光ネットワークの振興							
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	10 (10)	10 (10)				
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	4 (4)	3 (3)				
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)	3 (3)				
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	3 (3)				
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	1 (1)	1 (1)				
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	106,422	166,166				
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	10,165	32,773				
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	7,874	4,674				
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	82,962	122,155				
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円	5,421	6,564				
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	23	22					
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	7,500	9,600					
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	29,423	37,210					
F. トータルコスト（B+E）		千円	135,845	203,376					
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の								
	G. 事業費（定義式：B/人口）		円	2,629	4,163				
	同 上		円	727	932				
	H. 人件費（定義式：E/人口）		円	3,356	5,095				
同 上		円	3,356	5,095					
I. トータルコスト（定義式：F/人口）		円	3,356	5,095					
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876				
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477	39,919				

基本事業概要シート①

施策 No.	22	施策名	観光の振興
基本事業名	①地域資源のブランド力向上		
基本事業の目的(意図)	観光資源の磨き上げを図ると同時に新たな地域資源を発掘し、魅力の向上に取り組んで魚津ブランドを創出します。また、観光資源の特徴を活かしながらネットワーク化し有効に活用します。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【観光・物産宣伝事業】(施策22③再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対応しながら、市制70周年記念事業として花火大会を2日間開催とした「じゃんこい魚津まつり」や「よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり」は規模を拡大して開催しました。また、「魚津の朝市」や「イルミラージュUOZU」も開催支援を行い観光誘客に努めました。なお、「戦国のろし祭り」や「漁火まつり」はコロナ禍により中止となりました。 <p>【食泊連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から3か年計画で地方創生推進交付金を活用し、とやま観光推進機構と連携し「観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト」を実施しており、令和4年度は観光客が求めるニーズを探るため、来訪者に対するニーズ調査を実施し、年齢や出身エリア別等の調査・分析を行いました。また、観光協会へ委託し、紅ズワイガニの需要把握、流通確保に関する実証実験として「魚津蟹騒動」を開催しました。 <p>【産業観光推進事業】(施策26①、27①再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内事業所の魅力を伝える産業観光ツアーについては、魚津商工会議所や観光協会等と連携しながら、8月、10月(〇〇魚津と同時開催)、3月の計3回開催され、延べ80名の参加者と延べ14社の参加事業者がありました。 <p>【ふるさと納税推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受付WEBサイト数を8サイトから14サイトに、また、返礼品数を579品から690品に増やすなど寄附者の利便性の向上やニーズに合わせた商品の開発、地域産業の活性化に努めました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
観光消費額(暦年)	百万円	7,301	4,194	7,423 4,354	7,300 5,549	7,700	8,100	8,500	(8年度8,880)
産業観光実施事業者数	箇所	5	0	6 0	6 14	6	6	7	10

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和4年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	○ 産業観光推進事業	148,800	123,284	25,516	A	商工観光課
2	一般会計	○ 観光・物産宣伝事業	31,203,000	27,605,756	3,597,244	A	商工観光課
3	一般会計	○ 食泊連携事業	7,000,000	5,044,046	1,955,954	B	商工観光課
4	一般会計	○ ふるさと納税推進事業(施策3①再掲)	(610,108,000)	(485,135,649)	(124,972,351)	A	企画政策課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			38,351,800	32,773,086	5,578,714		

基本事業概要シート②

施策 No.	22	施策名	観光の振興
基本事業名	②地域の魅力発信体制の整備		
基本事業の目的(意図)	観光宣伝のため、様々な情報発信ツールを特性に合わせて効果的に活用します。また、新しい生活様式を踏まえた上で、観光客のニーズに合わせた観光ガイドや観光コースの充実を図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【シティプロモーション事業】(施策2①再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津の情報を掲載したリーフレット(UOペーパー)を作成し、県外の魚津ゆかりの方々や企業へ配布し、専用ホームページの運用などを行いました。 ・シティプロモーション動画(魚津四季)をSNS等で配信しました。 ・片貝地域振興会が片貝川流域水循環遺産活用事業で「片貝体験プログラム」の冊子と「蛇石伝説」の漫画を作成し、山村での体験プログラムと蛇石の由来を市内外へ発信しました。 <p>【受入体制整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会及び観光案内所の支援を行うとともに、レンタサイクル「みらくる」の貸し出しや蜃気楼展望地での清掃員・解説員の配置を行いました。 <p>【インバウンド推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対応しながら、県とともに台湾へ赴き現地PRや商談会等を1回行いました。また、多言語版観光情報サイトへの掲載・情報発信やSNSを活用した広告配信、多言語パンフレットの更新・増刷等、受入体制整備を軸に事業を実施しました。 <p>【広域観光連携事業】(施策22④再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新川地域観光開発協議会(事務局:魚津市商工観光課)において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対応しながら、ツーリズムEXPOジャパン2022への出展をはじめ、北陸新幹線敦賀延伸を見据えた福井市における出向宣伝の実施やWEBメディアでの情報発信等により、新川地域の観光PR等を行いました。 ・いしかわ観光圏協議会(事務局:黒部市商工観光課)に参加し、観光プロモーション動画の作成やWebメディアを活用したいしかわ地域の誘客促進、体験型コンテンツの創出事業、インバウンドにおける海外現地旅行会社とのオンライン商談会や観光情報発信等を行いました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
観光客入込数(暦年)	千人	1,536	881	1,557 923	1,536 1,144	1,567	1,598	1,630	1,700 (8年度1,663)
魚津市観光協会HPアクセス数(年度)	千件	314	125	240 123	321 221	328	335	342	(8年度350)

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ インバウンド等推進事業	2,300,000	2,300,000	0	A	商工観光課
2	水族館事業特別会計	水族博物館広告宣伝事務	992,940	979,701	13,239	-	水族博物館
3	一般会計	埋没林博物館観客誘致事業	1,646,000	1,393,964	252,036	-	埋没林博物館
4	一般会計	○ シティプロモーション事業(施策2①再掲)	(1,214,000)	(1,212,720)	(1,280)	B	情報広報課
5	一般会計	○ 受入体制整備事業(施策22③再掲)	(41,760,000)	(25,520,483)	(16,239,517)	A	商工観光課
6	一般会計	○ 食泊連携事業(施策22①再掲)	(7,000,000)	(5,044,046)	(1,955,954)	B	商工観光課
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			4,938,940	4,673,665	265,275		

基本事業概要シート③

施策 No.	22	施策名	観光の振興
基本事業名	③イベント・受け入れ体制の充実		
基本事業の目的(意図)	多くの人が集まり、交流し、賑わいが生まれる祭りや各種イベントを開催・支援します。また、観光案内サインやガイドの充実など満足度を高める受け入れ体制の整備を進めます。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【受入体制整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月に策定した令和4年度から8年度までの5年間を期間とする「第3次魚津市観光振興計画」の総合的かつ計画的な推進と進捗状況の確認を行うため、魚津市観光振興計画推進協議会を設置し、各団体が連携を図り、進捗状況を把握しながらPDCAサイクルを行い、取り組みを継続的に改善しながら進めています。 コロナ禍により落ち込んだ国内旅行の需要を喚起し、市内観光事業者への支援につなげるため、市内の宿泊施設や飲食店・物販施設等で利用できる電子地域通貨MiraPay(ミラペイ)を県内外の旅行者に販売し、域内消費の拡大や観光誘客の促進等を図る事業として宿泊割引事業(魚旅キャンペーン)を行いました。 <p>【サイクリングを活用した賑わい創出事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> サイクリストが快適で安心して宿泊できる環境整備を促進するため、レンタサイクル用にE-バイクを新たに10台購入するとともに、デジタルスタンプラリーの開催やサイクリングマップ、サイクルツーリズム情報発信サイトの制作等を行いました。併せて市内の公共施設を中心に常設のサイクルラックを整備しました。 <p>【コンベンション開催支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流人口の拡大や賑わいの創出を目的に、首都圏・関西方面から大学生の合宿誘致や市内での企業ミーティングなど、コンベンション開催団体に対して助成を行っています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実績は1件にとどまりました。 <p>【観光・物産宣伝事業】(施策22①再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対応しながら、市制70周年記念事業として花火大会を2日間開催とした「じゃんとこい魚津まつり」や「よっしゃや来い!!CHOUROKUまつり」は規模を拡大して開催しました。また、「魚津の朝市」や「イルミラージュUOZU」も開催支援を行い観光誘客等に努めました。なお、「戦国のろし祭り」や「漁火まつり」はコロナ禍により中止となりました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
観光満足度(年度)	%	63.7	54.3	64.5 71.4	64.8 85.7	65.2	65.6	66.0	70.0
延べ宿泊者数(暦年)	千人	295	178	395 190	295 216	301	307	314	323 (8年度320)

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 受入体制整備事業	41,760,000	25,520,483	16,239,517	A	商工観光課
2	一般会計	○ 受入体制整備事業(魚津の宿泊割引事業)	108,700,000	89,744,608	18,955,392	B	商工観光課
3	一般会計	○ サイクリングを活用した賑わい創出事業	7,500,000	6,889,764	610,236	B	商工観光課
4	一般会計	○ 観光・物産宣伝事業(施策22①再掲)	(31,203,000)	(27,605,756)	(3,597,244)	A	商工観光課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			157,960,000	122,154,855	35,805,145		

基本事業概要シート④

施策 No.	22	施策名	観光の振興
基本事業名	④広域観光ネットワークの振興		
基本事業の目的(意図)	広域観光圏での連携を強化し、魅力ある周遊ルートやモデルプランを作り、滞在型観光を促進します。また、様々な交流都市との観光相互連携活動を推進します。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【広域観光連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新川地域観光開発協議会(事務局:魚津市商工観光課)において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対応しながら、ツーリズムEXPOジャパン2022への出展をはじめ、北陸新幹線敦賀延伸を見据えた福井市における出向宣伝の実施やWEBメディアでの情報発信等により観光PR等を行いました。(施策22②再掲) ・にいかわ観光圏協議会(事務局:黒部市商工観光課)に参加し、観光プロモーション動画の作成やWebメディアを活用したにいかわ地域の誘客促進、体験型コンテンツの創出事業、インバウンドにおける海外現地旅行会社とのオンライン商談会や観光情報発信等を行いました。(施策22②再掲) ・令和4年度の「富山湾岸サイクリング」は市制70周年を記念し、魚津市をメイン会場に開催されました。 ・観光交流都市の飯山市と連携し、相互の広報誌を活用したイベント情報の発信など観光PRに努めました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
新川地域宿泊者数(暦年※滑川市は含まず)	千人	704	396	845 395	702 529	712	722	733	774 (8年度743)
市内外国人延べ宿泊者数(暦年)	人	13,503	2,696	22,000 1,113	5,000 739	13,500	14,000	14,500	24,300 (8年度15,000)

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)			
1	一般会計	○ 広域観光連携事業	6,568,000	6,564,480	3,520	A	商工観光課	
2	一般会計	○ 受入体制整備事業(施策22③再掲)	(41,760,000)	(25,520,483)	(16,239,517)	A	商工観光課	
3	一般会計	○ インバウンド等推進事業(施策22②再掲)	(2,300,000)	(2,300,000)	(0)	A	商工観光課	
4					0			
5					0			
6					0			
7					0			
8					0			
9					0			
10					0			
11					0			
12					0			
13					0			
14					0			
15					0			
16					0			
17					0			
18					0			
19					0			
20					0			
21					0			
22					0			
23					0			
24					0			
25					0			
26					0			
27					0			
28					0			
29					0			
30					0			
合計			6,568,000	6,564,480	3,520			

施策 No.	22	施策名	観光の振興
令和4年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①地域資源のブランド力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆裾野の広い観光産業を強化し、市内の観光消費を拡大するには、観光産業の高付加価値化を図ることが必要です。令和4年度の観光消費額は55億4千9百万円と新型コロナウイルス感染症拡大の影響はありましたが、令和3年度より11億9千5百万円増加しました。なお、コロナ禍前の令和元年度と比較すると17億5千2百万円減少しています。 ◆市民が地域資源に誇りを持ち、情報発信力や来訪者の満足度を高めるためには地域資源の磨き上げやブランド力の向上が必要です。 ◆令和4年度に関係事業者において魚津産豚「魚津しんきろうポーク」が商標登録されました。 <p>【②地域の魅力発信体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津市の認知度を向上させ観光振興を効果的に実施するためには、様々なデータを分析・活用し、観光客の多様なニーズに合わせた情報インフラや魅力発信体制の整備が必要です。 ◆令和4年度の「観光客入込数」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったものの1,144千人(昨年比221千人増)と増加していますが、コロナ禍前の令和元年度と比較すると392千人の減少となっています。 ◆観光協会のホームページは新型コロナウイルス感染症拡大の影響等も推測されますが、令和4年度のアクセス数は221千件(昨年比98千件増)と増加しているものの、コロナ禍前の令和元年度(314千件)と比較しても大きく減少しています。 ◆市フェイスブックに加え、市Twitterを開設したことによりSNSの閲覧件数が増加しています。 <p>【③イベント・受け入れ体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆人口減少社会の中、交流人口を拡大し地域経済を維持していくためにも、祭りをはじめとする各種イベントの開催や観光施設の高付加価値化をはじめとする観光における「稼ぐ力」の強化、観光客の満足度を高める受け入れ体制の整備等が必要です。なお、新型コロナウイルス感染症は令和5年5月より感染症法上の位置付けが2類から5類に移行されました。 ◆令和4年度の延べ宿泊者数は226千人(昨年比36千人増)と増加となりましたが、コロナ禍の前の令和元年度と比較すると69千人の減少となっています。 ◆令和4年度の観光ガイド登録者数は33名と前年度と同人数でした。観光ガイドの確保や育成等には、研修等を充実させるなど地道に増やしていくことが重要であり、広報紙等を通じて人員増に努めています。 ◆魚津駅前観光案内所の利用者について、令和4年度は14,044人(令和3年度7,583人、令和2年度8,246人、令和元年度10,393人)と令和3年度と比較して大幅に増加しました。引き続き、来訪者が気軽に訪れやすい環境整備や情報発信に努めるとともに、来訪者の満足度の高い観光案内に努めています。 <p>【④広域観光ネットワークの振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新川地域(2市2町)の宿泊者数は令和4年度は529千人(昨年比134千人増)と減少しており、コロナ禍前の令和元年度(702千人)と比較しても大幅に減少しています。 ◆市内における外国人の宿泊者数は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和4年度は739人(昨年比374人減)と減少しており、コロナ禍前の令和元年度(13,503人)と比較しても大幅に減少しています。 ◆2024年の北陸新幹線敦賀駅延伸や黒部宇奈月キャニオンの一般開放等を控え、関係人口を創出し、本市における長期滞在環境を整えるためにも、今まで以上に富山県や新川地域、交流都市等との連携強化が必要です。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和4年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【基本事業共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和4年度から8年度までの5年間を期間とする「第3次魚津市観光振興計画」に基づき、「観光で稼げる」地域づくりを目指し、各事業に取り組んでいます。 <p>【①地域資源のブランド力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜食泊連携事業＞ ◆とやま観光推進機構と連携し「観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト」を実施しており、令和4年度は観光客が求めるニーズを探るため、来訪者に対するニーズ調査を実施し、年齢や出身エリア別等の調査・分析を行いました。また、観光協会へ委託し、紅ズワイガニの需要把握、流通確保に関する実証実験として「魚津蟹騒動」を開催しました。 ＜産業観光推進事業＞ ◆市内事業所の魅力を伝える産業観光ツアーについては、魚津商工会議所や観光協会等と連携しながら、8月、10月(〇〇魚津と同時開催)、3月の計3回開催され、延べ80名の参加者と延べ14社の参加事業者がありました。 <p>【②地域の魅力発信体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜シティブロモーション事業＞ ◆魚津の情報を掲載したリーフレット(UOペーパー)を作成し、県外の魚津ゆかりの方々や企業へ配布し、専用ホームページの運用などを行いました。 ◆シティブロモーション動画(魚津四季)をSNS等で配信しました。 ＜インバウンド推進事業＞ ◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対応しながら、県とともに台湾へ赴き現地PRや商談会等を1回行いました。また、多言語版観光情報サイトへの掲載・情報発信やSNSを活用した広告配信等、受入体制整備を軸に事業を実施しました。 <p>【③イベント・受け入れ体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜受入体制整備事業＞ ◆「第3次魚津市観光振興計画」の総合的かつ計画的な推進と進捗状況の確認を行うため、魚津市観光振興計画推進協議会を設置し、各団体が連携を図り、進捗状況を把握しながらPDCAサイクルを行い、取り組みを継続的に改善しながら進めています。 ◆コロナ禍により落ち込んだ国内旅行需要を喚起し、市内観光事業者への支援につなげるため、市内の宿泊施設や飲食店・物販施設等で利用できる電子地域通貨MiraPay(ミラペイ)を県内外の旅行者に販売し、域内消費の拡大や観光誘客の促進等を図る事業として宿泊割引事業(魚旅キャンペーン)を行いました。 ＜サイクリングを活用したにぎわい創出事業＞ ◆サイクリストが快適で安心して宿泊できる環境整備を促進するため、レンタサイクル用にE-バイクを新たに10台購入するとともに、デジタルスタンプラリーの開催やサイクリングマップ、サイクルツーリズム情報発信サイトの制作等を行いました。併せて市内の公共施設を中心に常設のサイクルラックを整備しました。 ＜観光・物産宣伝事業＞ ◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対応しながら、市制70周年記念事業として火花大会を2日間開催した「じゃんとこい魚津まつり」や「よっしゃ来い!CHOUROKUまつり」は規模を拡大して開催しました。また、「魚津の朝市」や「イルミラージュOZU」も開催支援を行い観光誘客等に努めました。なお、「戦国のろし祭り」や「漁火まつり」はコロナ禍により中止となりました。 <p>【④広域観光ネットワークの振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜広域観光連携事業＞ ◆いかわ観光圏事業、新川地域観光開発協議会等による近隣他市町との観光連携や観光交流都市、県等との連携により、コロナ禍の影響を受ける中、観光プロモーション動画の制作やWEBメディアでの情報発信、出向宣伝、インバウンドにおけるオンライン商談会等を行い、工夫しながら効果的な活動に努めました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【基本事業共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き、第3次観光振興計画に基づき各種事業を実施します。 <p>【①地域資源のブランド力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆とやま観光推進機構と連携し「観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト」を実施します。 ◆「魅力ある食の街」として、魚津産豚を活用したブランド化を推進するため、令和4年度に商標登録された「魚津しんきろうポーク」の普及促進に努めます。 ◆本市の特色を活かした産業を幅広く知ってもらうため、産業観光ツアーに取り組めます。 <p>【②地域の魅力発信体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆観光協会や観光案内所に支援を行うとともに、観光情報拠点として継続的・安定的な運営と案内業務の機能強化のため魚津駅前観光案内所に専門観光コンシェルジュを配置し、観光客等がより利用しやすいよう取り組みます。 ◆人流分析システムや携帯電話GPS機能等を活用し、市内観光施設等の入込数や年代、性別等の観光データを収集、分析し、今後の観光戦略に活かします。 ◆各SNSの特性を活かし、情報を必要としている人へ、その人がアクセスしやすい方法で情報を発信します。 ◆前年度に制作したシティブロモーション動画を広告としてセグメント配信することにより、効果的に魚津をアピールします。 ◆片貝地域振興会が毛勝の郷土ルーツ(片貝コミュニティセンター)を核として「片貝体験プログラム」により、洞杉等の地域資源を活用し、交流人口・関係人口の拡大を目指します。 <p>【③イベント・受け入れ体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和4年度から実施している「観光推進体制組織強化事業」をさらに進め、専門人材の登用やワークショップ等を通じてDMO(※1)の設立を見据えた観光地域づくりの推進体制とその中心的な役割を担う組織の構築を目指します。 ◆観光ガイドの確保と育成に努め、旅行者の満足度向上を目指します。 ◆「よっしゃこいCHOUROKUまつり」や「じゃんとこい魚津まつり」等のイベントについては、支援を行いながら開催することで観光客の誘客や地域活性化等に取り組めます。 ◆ナショナルサイクルルートや市内のサイクル周遊ルートを活用し、引き続き観光客等に気軽にサイクリングを楽しめるよう環境整備を行い、併せて本市のサイクルツーリズムの認知度向上やサイクリングによる誘客促進に取り組めます。 <p>【④広域観光ネットワークの振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新川地域観光開発協議会及びいかわ観光圏の統合の検討を行いながら、効果的な連携体制のもと総合観光イベントの開催や広域周遊観光の促進、インバウンド対応の取組等に努めます。 ◆令和6年春の北陸新幹線敦賀延伸に向けて、県やJR西日本等と連携した DestinEーションキャンペーン(DC(※2))を展開し、関西圏の旅行者はもとより、北陸観光の選択肢が広がる新幹線沿線の長野県や北関東エリアからの誘客強化に努めます。 ◆新型コロナウイルス回復後の観光需要の取込みを目的に、インバウンド事業及び国際交流の深化に向けて具体的な交流を模索するため、台湾との交流、提携の可能性のある都市や自治体を調査し、台湾からの外国人旅行者の誘客及び国際交流・相互交流の強化に努めます。 <p>(※1)DMO…官民の幅広い連携によって観光地域づくりを推進する法人(Destination Management/Marketing Organizationの略) (※2)DC…「Destination(目的地・行き先) + Campaign(宣伝・運動)の造語」で、集中的なPRを実施し、全国からの送客を図り、地域を活性化させることを目的としているもの。</p>			